

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公表番号】特表 2001-511155(P2001-511155A)

【公表日】平成 13 年 8 月 7 日 (2001.8.7)

【出願番号】特願平 10-533248

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/5575

A 6 1 K 7/06

A 6 1 P 17/14

【F I】

A 6 1 K 31/5575

A 6 1 K 7/06

A 6 1 P 17/14

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 2 日 (2005.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年2月2日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第533248号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 ワシントン 98104, シアトル,
マディソン 1221

名称 ジョンストン, マーレイ エイ.

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話(大阪) 06-6949-3910

4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します

万 式
審 査

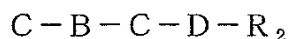
請求の範囲

1. 哺乳類の皮膚に適用するための局所的組成物であって、有効量のプロスタグランジンPGF化合物、およびその薬学的に受容可能な塩を局所的な薬学的キャリアと組み合わせて含有し、ここで該化合物のアルファ鎖が式：



を有し、ここで R_1 はHまたは1～10個の炭素原子を有するアルキル基であり；そして

該化合物のオメガ鎖が式：



を有し、ここでCは炭素原子または低級アルキル鎖であり、任意に1つまたはそれ以上の-OH基で置換され；

Bは単結合、二重結合または三重結合であり；

Dは1～10個の炭素原子を有する鎖であり、任意に1つまたはそれ以上の-OH基で置換され；

R_2 はHまたはフェニル基であり、これは C_1-C_5 アルキル基、 C_1-C_5 ハロアルキル基、 C_1-C_4 アルコキシ基、 C_1-C_4 ハロアルコキシ基、トリフルオロメチル基、 C_1-C_3 脂肪族アシルアミノ基、ニトロ基、ハロゲン原子、およびフェニル基からなる群から選択される、0個、1個またはそれ以上の置換基を有し；あるいは5～6個の環原子を有する芳香族複素環式基；または3～7個の炭素原子を環中に有するシクロアルカンまたはシクロアルケンであり、任意に1～5個の炭素原子を有する低級アルキル基で置換される、組成物。

2. 前記化合物の濃度が組成物の約0.0000001重量%から約50重量%である、請求項1に記載の組成物。

3. 前記化合物がPGF₂α誘導体である、請求項1に記載の組成物。

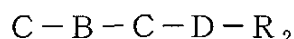
4. 前記化合物が13, 14-ジヒドロ-15-デヒドロ-17-フェニル-18, 19, 20-トリノル-PGF₂ α イソプロピルエステルまたはその薬学的に受容可能な塩である、請求項1に記載の組成物。

5. 哺乳類種における毛髪の成長を刺激するための医薬の製造における、プロスタグランジンPGF化合物、およびその薬理学的に受容可能な酸付加塩を単独でまたは局所的な薬学的キャリアと組み合わせて含む組成物の使用であって、ここで該化合物のアルファ鎖が式：



を有し、ここでR₁はHまたは1～10個の炭素原子を有するアルキル基であり；そして

該化合物のオメガ鎖が式：



を有し、ここでCは炭素原子またはC₁-C₅アルキル鎖であり、任意に1つまたはそれ以上の-OH基で置換され；

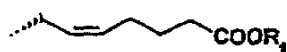
Bは単結合、二重結合または三重結合であり；

Dは1～10個の炭素原子を有する鎖であり、任意に1つまたはそれ以上の-OH基で置換され；

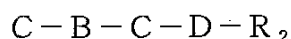
R₂はHまたはフェニル基であり、これはC₁-C₅アルキル基、C₁-C₅ハロアルキル基、C₁-C₄アルコキシ基、C₁-C₄ハロアルコキシ基、トリフルオロメチル基、C₁-C₃脂肪族アシルアミノ基、ニトロ基、ハロゲン原子、およびフェニル基からなる群から選択される、0個、1個またはそれ以上の置換基を有し；あるいは5～6個の環原子を有する芳香族複素環式基；または3～7個の炭素原子を環中に有するシクロアルカンまたはシクロアルケンであり、任意に1～5個の炭素原子を有する低級アルキル基で置換される、使用。

6. うぶ毛または中間毛を終毛としての成長に転換するための医薬の製造におけ

る、プロスタグランジンPGF化合物、およびその薬理的に受容可能な酸付加塩を単独でまたは局所的な薬学的キャリアと組み合わせて含む組成物の使用であって、ここで該化合物のアルファ鎖が式：



を有し、ここで R_1 はHまたは1～10個の炭素原子を有するアルキル基、あるいは毛髪成長刺激剤として等価な特性を有する最終物質を与える誘導体であり；そして該化合物のオメガ鎖が式：



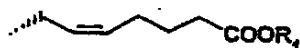
を有し、ここでCは炭素原子または C_1-C_5 アルキル鎖であり、任意に1つまたはそれ以上の-OH基で置換され；

Bは単結合、二重結合または三重結合であり；

Dは1～10個の炭素原子を有する鎖であり、任意に1つまたはそれ以上の-OH基で置換され；

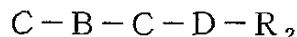
R_2 はHまたはフェニル基であり、これは C_1-C_5 アルキル基、 C_1-C_5 ハロアルキル基、 C_1-C_4 アルコキシ基、 C_1-C_4 ハロアルコキシ基、トリフルオロメチル基、 C_1-C_3 脂肪族アシルアミノ基、ニトロ基、ハロゲン原子、およびフェニル基からなる群から選択される、0個、1個またはそれ以上の置換基を有し；あるいは5～6個の環原子を有する芳香族複素環式基；または3～7個の炭素原子を環中に有するシクロアルカンまたはシクロアルケンであり、任意に1～5個の炭素原子を有する低級アルキル基で置換される、使用。

7. 毛包を刺激して、毛髪の成長と、毛包に関連する毛髪の光沢(luster)、輝き(sheen)、光輝(brilliance)、光沢(gloss)、光(glow)、光沢(shine)またはつや(patina)からなる群から選択される1つ以上の特性とを増強するための医薬の製造における、プロスタグランジンPGF化合物、およびその薬理的に受容可能な酸付加塩を単独でまたは局所的な薬学的キャリアと組み合わせて含む組成物の使用であって、ここで該化合物のアルファ鎖が式：



を有し、ここで R_1 はHまたは1～10個の炭素原子を有するアルキル基、あるいは毛髪成長刺激剤として等価な特性を有する最終物質を与える誘導体であり；そして

該化合物のオメガ鎖が式：



を有し、ここでCは炭素原子または C_{1-5} アルキル鎖であり、任意に1つまたはそれ以上の-OH基で置換され；

Bは単結合、二重結合または三重結合であり；

Dは1～10個の炭素原子を有する鎖であり、任意に1つまたはそれ以上の-OH基で置換され；

R_2 はHまたはフェニル基であり、これは C_1-C_5 アルキル基、 C_1-C_5 ハロアルキル基、 C_1-C_4 アルコキシ基、 C_1-C_4 ハロアルコキシ基、トリフルオロメチル基、 C_1-C_3 脂肪族アシルアミノ基、ニトロ基、ハロゲン原子、およびフェニル基からなる群から選択される、0個、1個またはそれ以上の置換基を有し；あるいは5～6個の環原子を有する芳香族複素環式基；または3～7個の炭素原子を環中に有するシクロアルカンまたはシクロアルケンであり、任意に1～5個の炭素原子を有する低級アルキル基で置換される、使用。

8. 前記化合物の濃度が組成物の0.0000001重量%から50重量%である、請求項5、6、または7に記載の使用。

9. 前記化合物が $PGF_2\alpha$ 誘導体である、請求項5～8のいずれか一項に記載の使用。

10. 前記化合物が13,14-ジヒドロ-15-デヒドロ-17-フェニル-18,19,20-トリノル- $PGF_2\alpha$ イソプロピルエステルまたはその薬学的に受容可能な塩である、請求項5、または請求項5に従属する場合の請求項8もしくは請求項9に記載の使用。

11. 前記化合物が、遊離塩基またはその酸付加塩の形態の、13,14-ジヒドロ-15-デヒドロ-17-フェニル-18,19,20-トリノル-PGF₂ α イソプロピルエステルである、請求項6、または請求項6に従属する場合の請求項8もしくは請求項9に記載の使用。